

予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 新型コロナウイルス感染症患者移送費負担金（国補）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策第一係 電話番号：058-272-1111（内4987）

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 9,479千円（現計予算額：6,374千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附 金	その 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	6,374	6,374	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	9,479	9,479	0	0	0	0	0	0	0
決 定 額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「感染症法」という。）」第21条の定めにより、新型コロナウイルス感染症（疑似症含む）患者の移送については、県が行うこととされている。ただし、同一保健所管内で同時に複数の当該患者が発生するなど、県の移送能力を超える事態が発生した場合、県内消防本部に移送の協力を依頼することがあり、この消防本部の移送にかかる経費を県が負担する必要があるが、第4波の発生により、6月補正要求時に想定していた移送件数を超える移送が発生し、支払負担金等が増大したことから、第5波の発生に備え追加要求するもの。

（2）事業内容

○消防本部の移送にかかる経費の負担・資機材の現物支給

「新型コロナウイルス感染症患者移送費負担金交付要綱」により、消防本部の移送にかかる人件費、及び燃料費を負担。また、移送時に使用するアイソレーターの附属品（フィルター）を購入し、現物支給する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 10 / 10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	3,553	アイソレーターフィルター購入費
負担金	5,926	新型コロナウイルス感染症患者移送費負担金
合計	9,479	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

新型コロナウイルス感染症「緊急事態」総合対策

2 医療提供体制の強化

(2) 患者の受入れ・搬送体制

[患者の搬送]

(2) 国・他県の状況

他県では、「エボラ出血熱感染者の移送にかかる覚書」に準じ、各消防本部と移送にかかる負担を調整。

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまで継続が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県

感染症法第21条により移送は県が実施することと定めているため。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染拡大が収束するまで、県内消防本部との協力のもと、県が実施すべき移送を円滑に実施できる体制を構築する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
/	(H)	(H)	(H)	(R)	(R)	%
/	(H)	(H)	(H)	(R)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症患者の移送状況に合わせ随時対応するため、目標値の設定ができない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症患者（疑似症含む）の移送を151件実施した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	新型コロナウイルス感染症患者の移送を県内消防本部と連携し、円滑に実施するため必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	救急車による移送が必要な新型コロナウイルス感染症患者に対し、迅速かつ安全に移送を実施できる態勢が整えられている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	関連部署で移送手順および実績を共有し、効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 無

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまで継続する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	